

講座名：ヘルスプランナーコース 1年【春学期】

日 程：4月15日～7月22日(全13回)

**講 師：竹内弥彦、山根主信（福祉総合学部理学療法学科）
丸山あかね（看護学部看護学科）
瓜生氏(山武市役所)**

市民未来大学ヘルスプランナーコースは、自助（自分自身の健康増進）と互助（住民主体の活動を推進するリーダー人財育成）をコースの目的として掲げ、身体・運動・疾患などについて理解していただきながら、健康支援の実践方法を学んでいただくコースです。

1年の春学期（前期）では、「ヘルスプロモーション」や「地域包括ケアシステム」という健康（ヘルス）をプランニングするのに欠かせない概念やシステムについての学習からはじまり、「解剖・生理・運動学」というヒトの身体の構造や働きについて、骨格模型などを使いながら学んでいただきました。また春学期末には城西国際大学の近くで開催されている通いの場への訪問と見学を通して、地域における健康活動のモデルのイメージをもっていました。

講座名：ヘルスプランナーコース 1年【秋学期】

日 程：9月30日～12月23日(全13回)

**講 師：竹内弥彦、小川明宏、竹内一成、山根主信(福祉総合学部理学療法学科)
和野千枝子(看護学部看護学科)
林和歌子(福祉総合学部福祉総合学科)**

1年の秋学期（後期）では、春学期に学んだ身体に関する知識を土台としていただきながら血圧や脈拍などの「バイタルサイン」という生命維持に大切な身体のサインを実際に測定する実習をふまえての学習からスタートしました。そして、「疾患学」では骨折や関節痛などの整形外科的な疾患、糖尿病などの循環器疾患、感染症などの呼吸器疾患、また重篤な障害を生じうる脳の疾患など、身近な疾患についての理解を深めていただきました。中盤以降では「睡眠」「くすり」「栄養」「地域福祉」などの健康増進にかかわるテーマについて本学の専門教員からの講義が行われました。

1年次の学習を終えられて、専門性ある講義ではあるけれど、それを理解しやすく説明して下さっているというご意見や、それぞれのテーマについてもっと掘り下げたお話を聞きたい、というご意見なども聞かれました。受講されたみなさんの健康に対する知識や意識を深める1年になったのではないかと感じております。

講座名：ヘルスプランナーコース 2年【春学期】

日 程：4月18日～7月11日(全13回)

**講 師：竹内弥彦、安齋紗保理、山根主信(福祉総合学部理学療法学科)
和野千枝子(看護学部看護学科)**

2年の春学期（前期）では、「老年学」にはじまり「フレイル」、「サルコペニア」、「ロコモティブシンドローム」、「認知症」という加齢に伴って生じる身体や精神の機能変化をテーマとした学習に多くの時間を費やしていただきました。また食事をするための「口腔機能」についての学習も行ってもらいました。実習としては「車椅子介助法」として、車椅子に乗っている方の移動援助において、段差昇降時や坂道移動時にどのような点に注意してもらうかを学んでいただきました。

講座名：ヘルスプランナーコース 2年【秋学期】

日 程：9月19日～12月19日(全13回)

**講 師：竹内弥彦、山根 主信(福祉総合学部理学療法学科)
二宮彩子、四十竹美千代(看護学部看護学科)
松田世治(経営情報学部総合経営学科)
鈴木氏(わいわいクラブ)、那須高志(越谷誠和病院)**

2年の秋学期（後期）では、ヘルスプランナーコース修了後に受講生の方が通いの場などの発足や運営をするために必要なノウハウとして、「コミュニケーション・倫理」、「チームマネジメント」から「管理運営マネジメント」「ICTの利用」をテーマとした学習からはじまり、「緊急時対応」としてAEDや心臓マッサージの実習も行いました。また昨年度の講義の中で受講生に好評であった「杖の使い方」について、段差昇降や悪路での移動の実習を行う時間もとりました。秋学期終盤は、2団体の通いの場への見学を行い、通いの場によって様々な特色があることを学んでいただきました。

2年間の学習の集大成として、コース終盤では、受講生ご自身が住まわれている地域で、これからどのようなことに取り組むことができそうか？ということについてお一人ずつ発表をしていただきました。コースに参加された感想として、「杖や車いすを使って実際に体験できた実習が印象に残った」、「様々な専門家からみた健康の考え方が学べた」、「体や薬のことが学べて生活に役立っている」、「通いの場のみなさんが温かく迎えてくださったことに感謝」などのご感想をいただくことができました。

講座の様子



【お問合せ】
城西国際大学 社会連携課
Mail: clics-jim@jiu.ac.jp
TEL: 0475-55-7685